

錦江に生きる

にじゅうさんにん目

小園 啓一郎さん

(神川上自治会)



このコーナーでは、町内でこれから根を張っていくと頑張っている若者を中心に紹介していきます。
第23回目は、神川上自治会の小園啓一郎さんです。

子どもの元気な声に導かれて行ってみると、小園啓一郎さんの牛小屋だった。奥さんの直美さんと長男・隆輔くんが楽しそうに牛の飼料になる草をトラクタから下ろしていた。啓一郎さんに、お手伝いをするなんて感心ですね。と話しかけると、「今日は一人だけど、仕事も遊びも趣味のスポーツもいつも子どもと一緒になんですよ。」と教えてくれた。

啓一郎さんは、農業大学校を卒業後、鹿児島市内で就職をした。しかし、父親が体調を崩したのを機に家業を継ぐことを決めた。啓一郎さんは「もともと、父の跡を継ぐつもりだったから自分の中では当然のこと。でも、畜産以外の仕事、大根にタバコ、そして経営については全くわからなかったのが最初は苦労の連続でした。」と話した。

啓一郎さんは現在、大根を1町・タバコを1町2反作り、牛を24頭飼っている。「父の頃から牛は大分増やしたが、まだまだ規模を拡大して、将来的には畜産一本で生

計を立てていきたい。それにはまだまだやらなきゃならないことがたくさんあるが母と妻と子供たちと力を合わして頑張っていきたいと思いますよ！」と力強く話した。

趣味を尋ねると、「スポーツ全般。特に野球・ソフトが好きですね。」と答えた。それもそのはず、啓一郎さんは高校時代、ソフトボール部に所属し一番ショートとして国体で全国制覇を成し遂げたとのこと。全国制覇はすごいですね。と言うと照れくさそうに笑った。

最後に何か一言お願いしますと、「今、錦江町も畜産に携わる若者が増えてきた。みんなで勉強会を開いたり、時にはスポーツや飲ん方で交流を深めていきたい。若手の中では自分が一番上になるので、自分が積極的に活動していきたいと思う。そして、錦江町の畜産がますます発展していけばいい。」と自分に言い聞かせるように話した。

啓一郎さんは、畜産界のホームラン王を目指してこれからも家族仲良く突き進む！

編集後記

●平成21年度がスタートし、今年度もまた広報マンとして頑張らせていただくことになりました。まだまだ、至らない点が多いですが、頑張りますのでこれからもよろしくお願いたします。

●今月号から、読みやすい広報紙づくりを目標に紙面のリニューアルを進めてまいります。掲載ページの変更等ございますが、ご了承くださいますようお願いいたします。

●人間ドッグを申し込んだら、なんと年度初めのしかも4月1日に組み込まれていました。当日行ったら「今日じゃないですよ。エイプリルフルです。」と言われてうな気がして病院に日程の変更をお願いしました。変更した日を忘れないか今から心配です。

●気になる一枚の答え。これは、役場が国からの災害情報や緊急の連絡を受けるときに使う為の衛星アンテナです。最近では、「定額給付金」の説明などが、このアンテナを通じた衛星放送で行われました。それにしてもデカ過ぎると思いませんか？

●思ひ出写真館は、紙面の都合上お休みのいたします。

■発行 錦江町役場
■編集 企画課
〒893-2392
鹿児島県肝属郡錦江町城元963
☎0994-22-3032
FAX 0994-22-1951
■錦江町ホームページアドレス
<http://www.town.kinko.lg.jp>